

5-4-2. 同和問題解決のために効果的と思われる施策、取組み

問 24 同和問題を解決するために、次の(1)～(9)の施策や対応は、どの程度効果的だと思いますか。すべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに○)

【表 5-4-2-1 同和問題解決のために効果的と思われる施策、取組み】

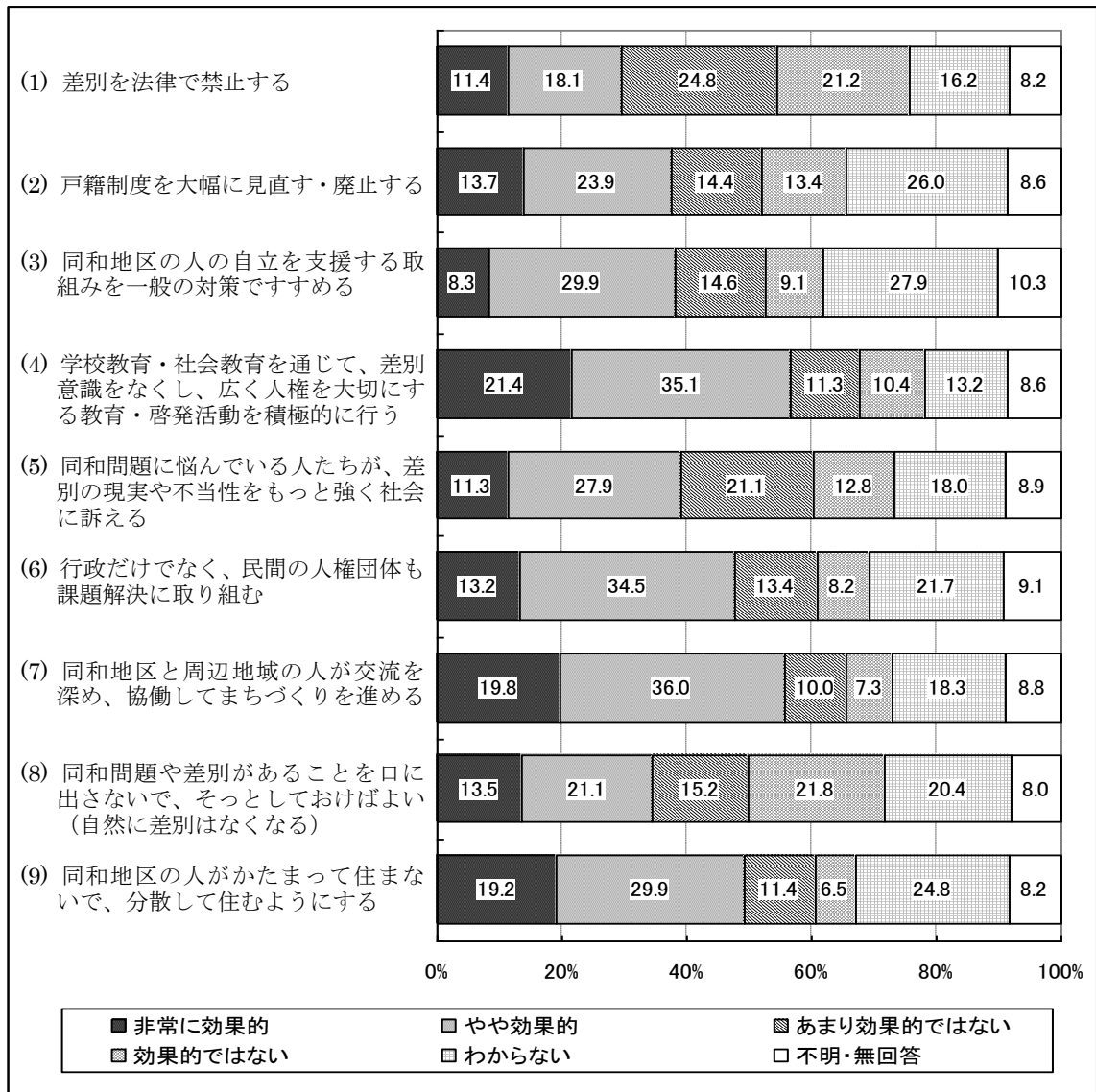
(上段:人、下段:%)

	効 非 果 常 的 に	効 や 果 的	で 効 あ は 果 的 な り い	で 効 は 果 的 な い	わ か ら な い	無 不 回 答 ・ 明 答	該 当 者 合 計
(1) 差別を法律で禁止する	77 11.4	122 18.1	167 24.8	143 21.2	109 16.2	55 8.2	673 100.0
(2) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	92 13.7	161 23.9	97 14.4	90 13.4	175 26.0	58 8.6	673 100.0
(3) 同和地区の人の自立を支援する取組みを一般の対策ですすめる	56 8.3	201 29.9	98 14.6	61 9.1	188 27.9	69 10.3	673 100.0
(4) 学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う	144 21.4	236 35.1	76 11.3	70 10.4	89 13.2	58 8.6	673 100.0
(5) 同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える	76 11.3	188 27.9	142 21.1	86 12.8	121 18.0	60 8.9	673 100.0
(6) 行政だけでなく、民間の人権団体も課題解決に取り組む	89 13.2	232 34.5	90 13.4	55 8.2	146 21.7	61 9.1	673 100.0
(7) 同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める	133 19.8	242 36.0	67 10.0	49 7.3	123 18.3	59 8.8	673 100.0
(8) 同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)	91 13.5	142 21.1	102 15.2	147 21.8	137 20.4	54 8.0	673 100.0
(9) 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにする	129 19.2	201 29.9	77 11.4	44 6.5	167 24.8	55 8.2	673 100.0

同和問題解決のために効果的と思われる施策や対応について尋ねたところ、「非常に効果的」「やや効果的」と答えた人の合計の割合は、『(4)学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う』が 56.5%と最も高く、次いで『(7)同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める』が 55.8%、『(9)同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにする』が 49.1%となっている。

一方で、「効果的ではない」「あまり効果的ではない」と答えた人の合計の割合は、『(1)差別を法律で禁止する』が 46.0%と最も高く、次いで『(8)同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)』が 37.0%、『(5)同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える』が 33.9%となっている。

【図5-4-2 同和問題解決のために効果的と思われる施策、取組み】



性別で見ると、「非常に効果的」「やや効果的」と答えた人の合計の割合は、男性では『(7)同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める』が57.6%と最も高く、次いで『(4)学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う』が56.5%、『(6)行政だけでなく、民間の人権団体も課題解決に取り組む』が47.4%となっている。

女性では『(4)学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う』が55.0%と最も高く、次いで『(7)同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める』が54.8%、『(9)同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにする』が51.4%となっている。

一方で、「効果的ではない」「あまり効果的ではない」と答えた人の合計の割合は、男性では『(1)差別を法律で禁止する』が45.2%と最も高く、次いで『(8)同和問題や差別があることを口に出さしないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)』が41.7%、『(5)同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える』が41.0%となっている。

女性では『(1)差別を法律で禁止する』が48.1%と最も高く、次いで『(8)同和問題や差別がある

ことを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)』が 35.0%、『(5)同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える』が 29.2%となっている。

年齢別でみると、「非常に効果的」「やや効果的」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では『(4)学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切に教育・啓発活動を積極的に行う』であり、数値は各々56.3%、60.6%、54.7%、56.2%、50.0%となっており、30歳代では『(7)同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める』で67.7%となっている。

一方で、「効果的ではない」「あまり効果的ではない」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では『(1)差別を法律で禁止する』であり、数値は各々65.7%、59.8%、56.6%、44.4%、40.8%となっており、70歳以上では『(8)同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)』で26.2%となっている。

【表5-4-2-2】

【表5-4-2-2 性別・年齢別 同和問題解決のために効果的と思われる施策、取組み】

(1)差別を法律で禁止する

(2)戸籍制度を大幅に見直す・廃止する

(上段:人,下段:%)

		効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効あ は果ま なりの い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 該 当 者 合 計
市全体		77 11.4	122 18.1	167 24.8	143 21.2	109 16.2	55 8.2
性別	男性	33 11.7	59 20.8	58 20.5	70 24.7	38 13.4	25 8.8
	女性	40 11.1	55 15.3	104 28.9	69 19.2	66 18.3	26 7.2
	不明・無回答	4 13.3	8 26.7	5 16.7	4 13.3	5 16.7	4 13.3
年齢別	20歳代	5 7.8	8 12.5	22 34.4	20 31.3	7 10.9	2 3.1
	30歳代	9 7.1	24 18.9	40 31.5	36 28.3	14 11.0	4 3.1
	40歳代	12 12.1	21 21.2	26 26.3	30 30.3	9 9.1	1 1.0
	50歳代	11 11.3	17 17.5	25 25.8	18 18.6	17 17.5	9 9.3
	60歳代	15 11.5	24 18.5	27 20.8	26 20.0	24 18.5	14 10.8
	70歳以上	21 16.7	20 15.9	22 17.5	9 7.1	33 26.2	21 16.7
	不明・無回答	4 13.3	8 26.7	5 16.7	4 13.3	5 16.7	4 13.3

(上段:人,下段:%)

		効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効あ は果ま なりの い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 該 当 者 合 計
市全体		92 13.7	161 23.9	97 14.4	90 13.4	175 26.0	58 8.6
性別	男性	36 12.7	71 25.1	36 12.7	53 18.7	59 20.8	28 9.9
	女性	50 13.9	86 23.9	57 15.8	34 9.4	106 29.4	27 7.5
	不明・無回答	6 20.0	4 13.3	4 13.3	3 10.0	10 33.3	3 10.0
年齢別	20歳代	2 3.1	23 35.9	12 18.8	11 17.2	14 21.9	2 3.1
	30歳代	14 11.0	36 28.3	24 18.9	20 15.7	28 22.0	5 3.9
	40歳代	16 16.2	23 23.2	16 16.2	20 20.2	23 23.2	1 1.0
	50歳代	20 20.6	23 23.7	11 11.3	12 12.4	21 21.6	10 10.3
	60歳代	21 16.2	25 19.2	17 13.1	15 11.5	37 28.5	15 11.5
	70歳以上	13 10.3	27 21.4	13 10.3	9 7.1	42 33.3	22 17.5
	不明・無回答	6 20.0	4 13.3	4 13.3	3 10.0	10 33.3	3 10.0

(3)同和地区の人の自立を支援する取組みを一般の対策ですめる

(4)学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切に教育・啓発活動を積極的に行う

		効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効あ は果ま なりの い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 該 当 者 合 計
市全体		56 8.3	201 29.9	98 14.6	61 9.1	188 27.9	69 10.3
性別	男性	25 8.8	84 29.7	43 15.2	35 12.4	66 23.3	30 10.6
	女性	28 7.8	107 29.7	54 15.0	23 6.4	115 31.9	33 9.2
	不明・無回答	3 10.0	10 33.3	1 3.3	3 10.0	7 23.3	6 20.0
年齢別	20歳代	3 4.7	23 35.9	11 17.2	10 15.6	15 23.4	2 3.1
	30歳代	9 7.1	42 33.1	27 21.3	9 7.1	34 26.8	6 4.7
	40歳代	8 8.1	28 28.3	12 12.1	18 18.2	32 32.3	1 1.0
	50歳代	10 10.3	31 32.0	14 14.4	8 8.2	22 22.7	12 12.4
	60歳代	14 10.8	31 23.8	17 13.1	9 6.9	40 30.8	19 14.6
	70歳以上	9 7.1	36 28.6	16 12.7	4 3.2	38 30.2	23 18.3
	不明・無回答	3 10.0	10 33.3	1 3.3	3 10.0	7 23.3	6 20.0

		効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効あ は果ま なりの い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 該 当 者 合 計
市全体		144 21.4	236 35.1	76 11.3	70 10.4	89 13.2	58 8.6
性別	男性	62 21.9	98 34.6	32 11.3	36 12.7	30 10.6	25 8.8
	女性	73 20.3	125 34.7	41 11.4	34 9.4	56 15.6	31 8.6
	不明・無回答	9 30.0	13 43.3	3 10.0	0 0.0	3 10.0	2 6.7
年齢別	20歳代	16 25.0	20 31.3	7 10.9	14 21.9	5 7.8	2 3.1
	30歳代	22 17.3	51 40.2	19 15.0	18 14.2	11 8.7	6 4.7
	40歳代	20 20.2	40 40.4	12 12.1	12 12.1	14 14.1	1 1.0
	50歳代	19 19.6	34 35.1	10 10.3	7 7.2	17 17.5	10 10.3
	60歳代	30 23.1	43 33.1	12 9.2	12 9.2	20 15.4	13 10.0
	70歳以上	28 22.2	35 27.8	13 10.3	7 5.6	19 15.1	24 19.0
	不明・無回答	9 30.0	13 43.3	3 10.0	0 0.0	3 10.0	2 6.7

(5) 同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える

(6) 行政だけでなく、民間の人権団体も課題解決に取り組む

		効非 果的 に	効や 果的 に	で効あ は果ま ないの りい	で効果 はない のりい	わ から ない	無 回 答・ 不 明	該 当 者 合 計
市全体		76 11.3	188 27.9	142 21.1	86 12.8	121 18.0	60 8.9	673 100.0
性別	男性	27 9.5	77 27.2	64 22.6	52 18.4	37 13.1	26 9.2	283 100.0
	女性	47 13.1	100 27.8	72 20.0	33 9.2	77 21.4	31 8.6	360 100.0
	不明・無回答	2 6.7	11 36.7	6 20.0	1 3.3	7 23.3	3 10.0	30 100.0
年齢別	20歳代	8 12.5	16 25.0	11 17.2	17 26.6	10 15.6	2 3.1	64 100.0
	30歳代	15 11.8	40 31.5	29 22.8	20 15.7	17 13.4	6 4.7	127 100.0
	40歳代	9 9.1	30 30.3	27 27.3	17 17.2	15 15.2	1 1.0	99 100.0
	50歳代	10 10.3	22 22.7	28 28.9	9 9.3	19 19.6	9 9.3	97 100.0
	60歳代	19 14.6	35 26.9	22 16.9	12 9.2	27 20.8	15 11.5	130 100.0
	70歳以上	13 10.3	34 27.0	19 15.1	10 7.9	26 20.6	24 19.0	126 100.0
	不明・無回答	2 6.7	11 36.7	6 20.0	1 3.3	7 23.3	3 10.0	30 100.0

		効非 果的 に	効や 果的 に	で効あ は果ま ないの りい	で効果 はない のりい	わ から ない	無 回 答・ 不 明	該 当 者 合 計
市全体		89 13.2	232 34.5	90 13.4	55 8.2	146 21.7	61 9.1	673 100.0
性別	男性	37 13.1	97 34.3	40 14.1	34 12.0	50 17.7	25 8.8	283 100.0
	女性	48 13.3	125 34.7	44 12.2	21 5.8	89 24.7	33 9.2	360 100.0
	不明・無回答	4 13.3	10 33.3	6 20.0	0 0.0	7 23.3	3 10.0	30 100.0
年齢別	20歳代	9 14.1	23 35.9	6 9.4	10 15.6	14 21.9	2 3.1	64 100.0
	30歳代	10 7.9	53 41.7	25 19.7	13 10.2	20 15.7	6 4.7	127 100.0
	40歳代	9 9.1	34 34.3	17 17.2	13 13.1	25 25.3	1 1.0	99 100.0
	50歳代	10 10.3	35 36.1	11 11.3	8 8.2	23 23.7	10 10.3	97 100.0
	60歳代	25 19.2	39 30.0	15 11.5	7 5.4	30 23.1	14 10.8	130 100.0
	70歳以上	22 17.5	38 30.2	10 7.9	4 3.2	27 21.4	25 19.8	126 100.0
	不明・無回答	4 13.3	10 33.3	6 20.0	0 0.0	7 23.3	3 10.0	30 100.0

(7) 同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める

(8) 同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)

		効非 果的 に	効や 果的 に	で効あ は果ま ないの りい	で効果 はない のりい	わ から ない	無 回 答・ 不 明	該 当 者 合 計
市全体		133 19.8	242 36.0	67 10.0	49 7.3	123 18.3	59 8.8	673 100.0
性別	男性	71 25.1	92 32.5	22 7.8	28 9.9	45 15.9	25 8.8	283 100.0
	女性	56 15.6	141 39.2	38 10.6	20 5.6	76 21.1	29 8.1	360 100.0
	不明・無回答	6 20.0	7 30.0	7 23.3	1 3.3	7 6.7	5 16.7	30 100.0
年齢別	20歳代	16 25.0	20 31.3	8 12.5	8 12.5	10 15.6	2 3.1	64 100.0
	30歳代	24 18.9	62 48.8	9 7.1	9 7.1	18 14.2	5 3.9	127 100.0
	40歳代	17 17.2	40 40.4	11 11.1	15 15.2	15 15.2	1 1.0	99 100.0
	50歳代	11 11.3	39 40.2	11 11.3	6 6.2	21 21.6	9 9.3	97 100.0
	60歳代	29 22.3	42 32.3	13 10.0	5 3.8	27 20.8	14 10.8	130 100.0
	70歳以上	30 23.8	30 23.8	8 6.3	5 4.0	30 23.8	23 18.3	126 100.0
	不明・無回答	6 20.0	9 30.0	7 23.3	1 3.3	7 6.7	5 16.7	30 100.0

		効非 果的 に	効や 果的 に	で効あ は果ま ないの りい	で効果 はない のりい	わ から ない	無 回 答・ 不 明	該 当 者 合 計
市全体		91 13.5	142 21.1	102 15.2	147 21.8	137 20.4	54 8.0	673 100.0
性別	男性	43 15.2	56 19.8	50 17.7	68 24.0	43 15.2	23 8.1	283 100.0
	女性	43 11.9	78 21.7	49 13.6	77 21.4	84 23.3	29 8.1	360 100.0
	不明・無回答	5 16.7	8 26.7	3 10.0	2 6.7	10 33.3	2 6.7	30 100.0
年齢別	20歳代	8 12.5	17 26.6	6 9.4	22 34.4	9 14.1	2 3.1	64 100.0
	30歳代	9 7.1	36 28.3	23 18.1	36 28.3	18 14.2	5 3.9	127 100.0
	40歳代	11 11.1	17 17.2	19 19.2	29 29.3	22 22.2	1 1.0	99 100.0
	50歳代	9 9.3	13 13.4	21 21.6	17 17.5	27 27.8	10 10.3	97 100.0
	60歳代	25 20.0	25 19.2	14 10.8	24 18.5	28 21.5	13 10.0	130 100.0
	70歳以上	23 18.3	26 20.6	16 12.7	17 13.5	23 18.3	21 16.7	126 100.0
	不明・無回答	5 16.7	8 26.7	3 10.0	2 6.7	10 33.3	2 6.7	30 100.0

(9) 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにする

		効非 果的 に	効や 果的 に	で効あ は果ま ないの りい	で効果 はない のりい	わ から ない	無 回 答・ 不 明	該 当 者 合 計
市全体		129 19.2	201 29.9	77 11.4	44 6.5	167 24.8	55 8.2	673 100.0
性別	男性	56 19.8	75 26.5	37 13.1	29 10.2	60 21.2	26 9.2	283 100.0
	女性	66 18.3	119 33.1	37 10.3	14 3.9	97 26.9	27 7.5	360 100.0
	不明・無回答	7 23.3	7 23.3	3 10.0	1 3.3	10 33.3	2 6.7	30 100.0
年齢別	20歳代	10 15.6	18 28.1	12 18.8	5 7.8	17 26.6	2 3.1	64 100.0
	30歳代	18 14.2	52 40.9	20 15.7	7 5.5	24 18.9	6 4.7	127 100.0
	40歳代	18 18.2	37 37.4	12 12.1	9 9.1	22 22.2	1 1.0	99 100.0
	50歳代	22 22.7	27 27.8	8 8.2	4 4.1	27 27.8	9 9.3	97 100.0
	60歳代	31 23.8	30 23.1	12 9.2	9 6.9	36 27.7	12 9.2	130 100.0
	70歳以上	23 18.3	30 23.8	10 7.9	9 7.1	31 24.6	23 18.3	126 100.0
	不明・無回答	7 23.3	7 23.3	3 10.0	1 3.3	10 33.3	2 6.7	30 100.0

職業別でみると、「非常に効果的」「やや効果的」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、自営業では『(9)同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにする』で52.2%、「公務員、教員」「民間正規雇用」「非正規雇用」では『(7)同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める』であり、数値は各々80.0%、59.7%、61.7%となっており、「家事専業・学生・無職」では『(4)学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う』で55.7%となっている。

一方で、「効果的ではない」「あまり効果的ではない」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業・学生・無職」では『(1)差別を法律で禁止する』であり、数値は各々42.1%、59.2%、51.0%、38.2%となっており、「公務員、教員」では『(8)同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)』で66.7%となっている。【表5-4-2-3】

【表5-4-2-3 職業別 同和問題解決のために効果的と思われる施策、取組み】

(1) 差別を法律で禁止する

(2) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する

(上段:人、下段:%)

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	77 11.4	122 18.1	167 24.8	143 21.2	109 16.2	55 8.2	673 100.0
自営業	6 6.8	17 19.3	21 23.9	16 18.2	16 18.2	12 13.6	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	5 33.3	2 13.3	6 40.0	1 6.7	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	19 10.2	30 16.1	50 26.9	60 32.3	20 10.8	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	7 7.4	21 22.3	32 34.0	16 17.0	10 10.6	8 8.5	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	40 15.6	41 16.0	57 22.2	41 16.0	54 21.0	24 9.3	257 100.0
不明・無回答	4 12.1	8 24.2	5 15.2	4 12.1	8 24.2	4 12.1	33 100.0

(上段:人、下段:%)

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	92 13.7	161 23.9	97 14.4	90 13.4	175 26.0	58 8.6	673 100.0
自営業	6 6.8	19 21.6	15 17.0	9 10.2	26 29.5	13 14.8	88 100.0
公務員、教員	3 20.0	3 20.0	0 0.0	5 33.3	4 26.7	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	21 11.3	56 30.1	31 16.7	34 18.3	35 18.8	9 4.8	186 100.0
非正規雇用	17 18.1	25 26.6	14 14.9	9 9.6	20 21.3	9 9.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	38 14.8	53 20.6	34 13.2	29 11.3	79 30.7	24 9.3	257 100.0
不明・無回答	7 21.2	5 15.2	3 9.1	4 12.1	11 33.3	3 9.1	33 100.0

(3) 同和地区の人の自立を支援する取組みを一般の対策ですすめる

(4) 学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	56 8.3	201 29.9	98 14.6	61 9.1	188 27.9	69 10.3	673 100.0
自営業	5 5.7	30 34.1	12 13.6	8 9.1	20 22.7	13 14.8	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	8 53.3	0 0.0	4 26.7	2 13.3	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	7 3.8	60 32.3	33 17.7	25 13.4	51 27.4	10 5.4	186 100.0
非正規雇用	13 13.8	24 25.5	12 12.8	9 9.6	26 27.7	10 10.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	27 10.5	68 26.5	40 15.6	12 4.7	79 30.7	31 12.1	257 100.0
不明・無回答	3 9.1	11 33.3	1 3.0	3 9.1	10 30.3	5 15.2	33 100.0

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	144 21.4	236 35.1	76 11.3	70 10.4	89 13.2	58 8.6	673 100.0
自営業	17 19.3	26 29.5	15 17.0	8 9.1	9 10.2	13 14.8	88 100.0
公務員、教員	3 20.0	4 26.7	2 13.3	4 26.7	2 13.3	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	35 18.8	75 40.3	22 11.8	27 14.5	19 10.2	8 4.3	186 100.0
非正規雇用	21 22.3	33 35.1	9 9.6	9 9.6	12 12.8	10 10.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	59 23.0	84 32.7	25 9.7	22 8.6	43 16.7	24 9.3	257 100.0
不明・無回答	9 27.3	14 42.4	3 9.1	0 0.0	4 12.1	3 9.1	33 100.0

(5) 同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える

(6) 行政だけでなく、民間の人権団体も課題解決に取り組む

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効 は果 ない	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	76 11.3	188 27.9	142 21.1	86 12.8	121 18.0	60 8.9	673 100.0
自営業	11 12.5	23 26.1	18 20.5	12 13.6	11 12.5	13 14.8	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	6 40.0	1 6.7	4 26.7	3 20.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	11 5.9	59 31.7	45 24.2	39 21.0	24 12.9	8 4.3	186 100.0
非正規雇用	17 18.1	24 25.5	19 20.2	8 8.5	16 17.0	10 10.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	34 13.2	65 25.3	51 19.8	22 8.6	59 23.0	26 10.1	257 100.0
不明・無回答	2 6.1	11 33.3	8 24.2	1 3.0	8 24.2	3 9.1	33 100.0

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効 は果 ない	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	89 13.2	232 34.5	90 13.4	55 8.2	146 21.7	61 9.1	673 100.0
自営業	10 11.4	29 33.0	13 14.8	5 5.7	19 21.6	12 13.6	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	4 26.7	4 26.7	3 20.0	3 20.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	14 7.5	79 42.5	27 14.5	26 14.0	33 17.7	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	17 18.1	29 30.9	14 14.9	4 4.3	20 21.3	10 10.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	43 16.7	80 31.1	27 10.5	16 6.2	63 24.5	28 10.9	257 100.0
不明・無回答	4 12.1	11 33.3	5 15.2	1 3.0	8 24.2	4 12.1	33 100.0

(7) 同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める

(8) 同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい(自然に差別はなくなる)

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効 は果 ない	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	133 19.8	242 36.0	67 10.0	49 7.3	123 18.3	59 8.8	673 100.0
自営業	13 14.8	29 33.0	15 17.0	2 2.3	17 19.3	12 13.6	88 100.0
公務員、教員	3 20.0	9 60.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	36 19.4	75 40.3	17 9.1	24 12.9	27 14.5	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	22 23.4	36 38.3	10 10.6	2 2.1	15 16.0	9 9.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	53 20.6	82 31.9	19 7.4	17 6.6	59 23.0	27 10.5	257 100.0
不明・無回答	6 18.2	11 33.3	6 18.2	2 6.1	4 12.1	4 12.1	33 100.0

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効 は果 ない	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	91 13.5	142 21.1	102 15.2	147 21.8	137 20.4	54 8.0	673 100.0
自営業	19 21.6	15 17.0	15 17.0	11 12.5	17 19.3	11 12.5	88 100.0
公務員、教員	2 13.3	0 0.0	4 26.7	6 40.0	3 20.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	19 10.2	43 23.1	31 16.7	56 30.1	29 15.6	8 4.3	186 100.0
非正規雇用	11 11.7	16 17.0	16 17.0	22 23.4	19 20.2	10 10.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	35 13.6	59 23.0	33 12.8	50 19.5	57 22.2	23 8.9	257 100.0
不明・無回答	5 15.2	9 27.3	3 9.1	2 6.1	12 36.4	2 6.1	33 100.0

(9) 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにする

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま な的り い	で効 は果 ない	わ か ら な い	無不 回明 答・	該 当 者 合 計
市全体	129 19.2	201 29.9	77 11.4	44 6.5	167 24.8	55 8.2	673 100.0
自営業	20 22.7	26 29.5	11 12.5	3 3.4	17 19.3	11 12.5	88 100.0
公務員、教員	3 20.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	6 40.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	37 19.9	54 29.0	24 12.9	17 9.1	46 24.7	8 4.3	186 100.0
非正規雇用	10 10.6	38 40.4	11 11.7	5 5.3	21 22.3	9 9.6	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	51 19.8	73 28.4	26 10.1	17 6.6	65 25.3	25 9.7	257 100.0
不明・無回答	8 24.2	6 18.2	4 12.1	1 3.0	12 36.4	2 6.1	33 100.0

学歴別でみると、「非常に効果的」「やや効果的」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」では『(4)学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、広く人権を大切にす
る教育・啓発活動を積極的に行う』であり、数値は各々44.1%、59.1%となっており、「短大卒」「大
学卒」では『(7)同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める』であり、各々
58.4%、65.2%となっている。

一方で、「効果的ではない」「あまり効果的ではない」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、
「中学卒」「高校卒」「短大卒」では『(1)差別を法律で禁止する』であり、数値は各々26.9%、49.0%、
55.5%となっており、「大学卒」では『(8)同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとし
ておけばよい(自然に差別はなくなる)』で50.4%となっている。

【表5-4-2-4】

【表5-4-2-4 学歴別 同和問題解決のために効果的と思われる施策、取組み】

(1) 差別を法律で禁止する

(2) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する

	(上段:人、下段:%)							(上段:人、下段:%)						
	効非 果的 に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの りい	で効 は果 な 的 い	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	該 当 者 合 計	効非 果的 に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの りい	で効 は果 な 的 い	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体	77 11.4	122 18.1	167 24.8	143 21.2	109 16.2	55 8.2	673 100.0	92 13.7	161 23.9	97 14.4	90 13.4	175 26.0	58 8.6	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	18 19.4	13 14.0	10 10.8	15 16.1	21 22.6	16 17.2	93 100.0	10 10.8	14 15.1	7 7.5	12 12.9	34 36.6	16 17.2	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	19 7.4	44 17.1	72 28.0	54 21.0	52 20.2	16 6.2	257 100.0	38 14.8	52 20.2	46 17.9	37 14.4	67 26.1	17 6.6	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	11 7.6	22 15.3	47 32.6	33 22.9	22 15.3	9 6.3	144 100.0	14 9.7	38 26.4	24 16.7	14 9.7	43 29.9	11 7.6	144 100.0
4.大学、大学院	23 16.3	33 23.4	34 24.1	36 25.5	8 5.7	7 5.0	141 100.0	22 15.6	50 35.5	16 11.3	24 17.0	21 14.9	8 5.7	141 100.0
5.その他	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	4 11.4	9 25.7	4 11.4	5 14.3	6 17.1	7 20.0	35 100.0	8 22.9	5 14.3	3 8.6	3 8.6	10 28.6	6 17.1	35 100.0

(3) 同和地区の人の自立を支援する取組みを
一般の対策ですすめる

(4) 学校教育・社会教育を通じて、差別意識
をなくし、広く人権を大切にす
る教育・啓発活動を積極的に行う

	(上段:人、下段:%)							(上段:人、下段:%)						
	効非 果的 に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの りい	で効 は果 な 的 い	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	該 当 者 合 計	効非 果的 に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの りい	で効 は果 な 的 い	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体	56 8.3	201 29.9	98 14.6	61 9.1	188 27.9	69 10.3	673 100.0	144 21.4	236 35.1	76 11.3	70 10.4	89 13.2	58 8.6	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	13 14.0	20 21.5	8 8.6	4 4.3	28 30.1	20 21.5	93 100.0	19 20.4	22 23.7	10 10.8	8 8.6	17 18.3	17 18.3	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	23 8.9	67 26.1	41 16.0	31 12.1	75 29.2	20 7.8	257 100.0	54 21.0	98 38.1	24 9.3	30 11.7	34 13.2	17 6.6	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	6 4.2	51 35.4	21 14.6	9 6.3	45 31.3	12 8.3	144 100.0	25 17.4	49 34.0	21 14.6	13 9.0	25 17.4	11 7.6	144 100.0
4.大学、大学院	9 6.4	54 38.3	26 18.4	13 9.2	30 21.3	9 6.4	141 100.0	35 24.8	54 38.3	18 12.8	18 12.8	9 6.4	7 5.0	141 100.0
5.その他	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	3 8.6	9 25.7	1 2.9	4 11.4	10 28.6	8 22.9	35 100.0	9 25.7	13 37.1	3 8.6	0 0.0	4 11.4	6 17.1	35 100.0

- (5) 同和問題に悩んでいる人たちが、差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える (6) 行政だけでなく、民間の人権団体も課題解決に取り組む

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回 答・	該 当 者 合 計	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回 答・	該 当 者 合 計
市全体	76 11.3	188 27.9	142 21.1	86 12.8	121 18.0	60 8.9	673 100.0	89 13.2	232 34.5	90 13.4	55 8.2	146 21.7	61 9.1	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	14 15.1	20 21.5	11 11.8	9 9.7	21 22.6	18 19.4	93 100.0	19 20.4	20 21.5	10 10.8	4 4.3	22 23.7	18 19.4	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	28 10.9	67 26.1	57 22.2	34 13.2	53 20.6	18 7.0	257 100.0	36 14.0	82 31.9	38 14.8	26 10.1	59 23.0	16 6.2	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	14 9.7	47 32.6	29 20.1	17 11.8	26 18.1	11 7.6	144 100.0	12 8.3	58 40.3	17 11.8	8 5.6	38 26.4	11 7.6	144 100.0
4.大学、大学院	15 10.6	44 31.2	38 27.0	24 17.0	13 9.2	7 5.0	141 100.0	16 11.3	62 44.0	20 14.2	16 11.3	19 13.5	8 5.7	141 100.0
5.その他	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0
不明・無回答	3 8.6	10 28.6	7 20.0	2 5.7	7 20.0	6 17.1	35 100.0	4 11.4	10 28.6	5 14.3	1 2.9	8 22.9	7 20.0	35 100.0

- (7) 同和地区と周辺地域の人が交流を深め、協働してまちづくりを進める (8) 同和問題や差別があることを口に出さな
いで、そっとしておけばよい(自然に差別
はなくなる)

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回 答・	該 当 者 合 計	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回 答・	該 当 者 合 計
市全体	133 19.8	242 36.0	67 10.0	49 7.3	123 18.3	59 8.8	673 100.0	91 13.5	142 21.1	102 15.2	147 21.8	137 20.4	54 8.0	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	24 25.8	17 18.3	8 8.6	5 5.4	20 21.5	19 20.4	93 100.0	21 22.6	14 15.1	7 7.5	12 12.9	21 22.6	18 19.4	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	50 19.5	89 34.6	23 8.9	23 8.9	56 21.8	16 6.2	257 100.0	36 14.0	49 19.1	41 16.0	61 23.7	55 21.4	15 5.8	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	24 16.7	60 41.7	13 9.0	9 6.3	28 19.4	10 6.9	144 100.0	15 10.4	34 23.6	20 13.9	30 20.8	36 25.0	9 6.3	144 100.0
4.大学、大学院	27 19.1	65 46.1	17 12.1	9 6.4	16 11.3	7 5.0	141 100.0	13 9.2	37 26.2	30 21.3	41 29.1	13 9.2	7 5.0	141 100.0
5.その他	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	6 17.1	10 28.6	6 17.1	3 8.6	3 8.6	7 20.0	35 100.0	5 14.3	7 20.0	3 8.6	3 8.6	12 34.3	5 14.3	35 100.0

- (9) 同和地区の人がかたまって住まない
で、分散して住むようにする

	効非 果常 的に	効や 果や 的	で効あ は果ま なりの い	で効は 果な 的い	わ か ら な い	無不 回 答・	該 当 者 合 計
市全体	129 19.2	201 29.9	77 11.4	44 6.5	167 24.8	55 8.2	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	21 22.6	13 14.0	6 6.5	8 8.6	29 31.2	16 17.2	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	45 17.5	91 35.4	25 9.7	20 7.8	58 22.6	18 7.0	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	29 20.1	48 33.3	16 11.1	7 4.9	35 24.3	9 6.3	144 100.0
4.大学、大学院	24 17.0	43 30.5	27 19.1	8 5.7	32 22.7	7 5.0	141 100.0
5.その他	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	8 22.9	6 17.1	3 8.6	1 2.9	12 34.3	5 14.3	35 100.0

5-5 人権問題や今後の人権教育・啓発についての意見・要望

同和問題をはじめとする人権問題や今後の人権教育・啓発について、国や大阪府、市町村に対して意見・要望〔問34〕を自由に記入してもらったところ、回答者総数716人のうち191人（26.7%）から総数223件の意見・要望が寄せられた。

記述内容は以下のとおり

- ・ 同和地区は優遇されている。逆差別になっている。保護されている。
行政は支援しすぎ。…………… 35件
- ・ 教育等の場でもっと多くこういった人権問題または、社会問題について
学べるようにする。…………… 15件
- ・ 何もしなければ知らなくてすむ。知らない子ども達にわざわざ
教える必要はない。…………… 18件
- ・ 人はみな平等に対応すべき。不公平をなくしてほしい。…………… 11件
- ・ 差別と言いつぎる。「人権、人権」とあまり騒がない。「同和」と
言い過ぎるからなくなる。…………… 7件
- ・ 同和問題は知らない。わからない。…………… 9件
- ・ 被差別者側にも問題がある。被差別者側にも甘えがある。…………… 2件
- ・ 地方公共団体が積極的に広報や啓発すべき。積極的な行政の活動が必要。… 11件
- ・ その他。えせ同和行為をなくしてほしい。分散して生活していくべき等。… 93件
- ・ 行政全般に関する意見。…………… 22件